

平成27年7月3日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

未来の土木技術者が工事現場体験 ～平工業高等学校生が相馬西道路を見学～

平成27年7月7日（火）、一般国道115号相馬西道路の（仮）^{よこかわ}横川高架橋、（仮）^{あらやしき}荒屋舗橋を福島県立平工業高等学校土木科の生徒さんが見学いたします。

この見学会は、若年者の建設現場見学会並びに建設現場実習の一環として、一般社団法人福島県建設業協会の主催によるものです。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解も深まればと考えております。

1. 日時 平成27年7月7日（火）10:20～11:30
2. 場所 一般国道115号相馬西道路
 - ①（仮）^{よこかわ}横川高架橋
 - ②（仮）^{あらやしき}荒屋舗橋
3. 見学者 福島県立平工業高等学校 土木科 2年生 40名
4. その他 報道関係の方におかれましては、10:20に^{よこかわ}横川高架橋の工事現場（別添位置図参照）に集合願います。

発表記者會等：いわき記者會、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、福島建設工業新聞、南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ

◆事業に関する事

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所
TEL 0246-23-2211（代表）
副所長 千葉 富彦（内線204）
工務課長 岩渕 誠（内線411）

◆見学会に関する事

一般社団法人福島県建設業協会
TEL 024-521-0244
浅野 聡一

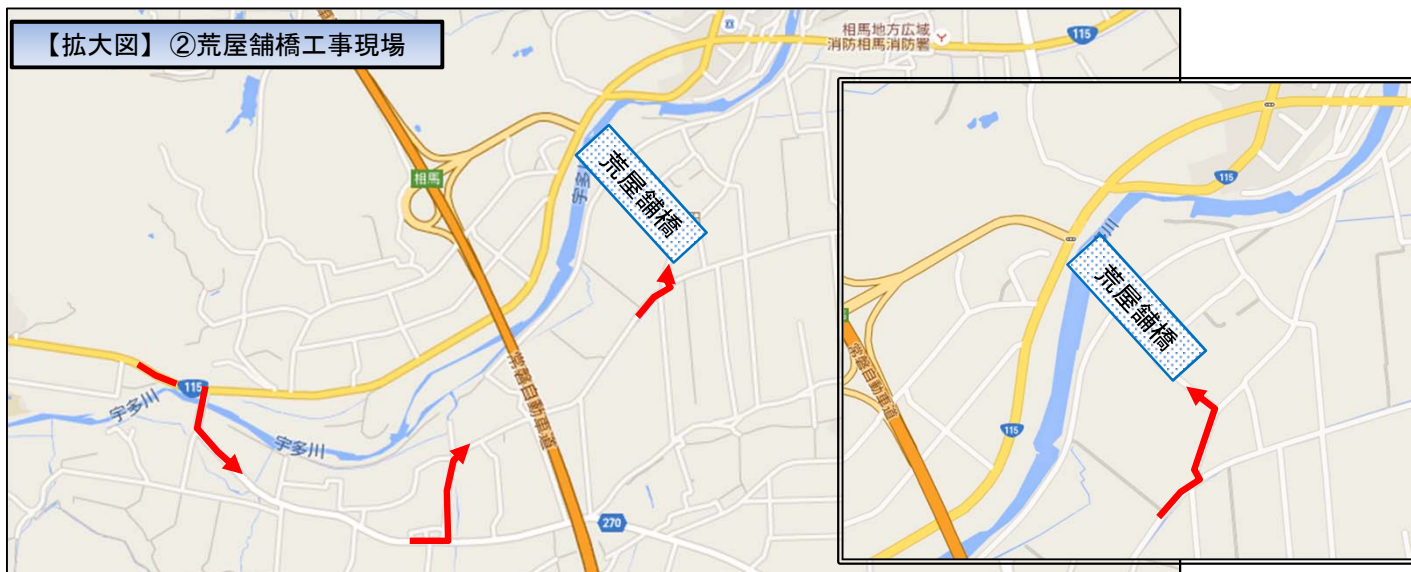
位置図



【拡大図】 ①横川高架橋工事現場

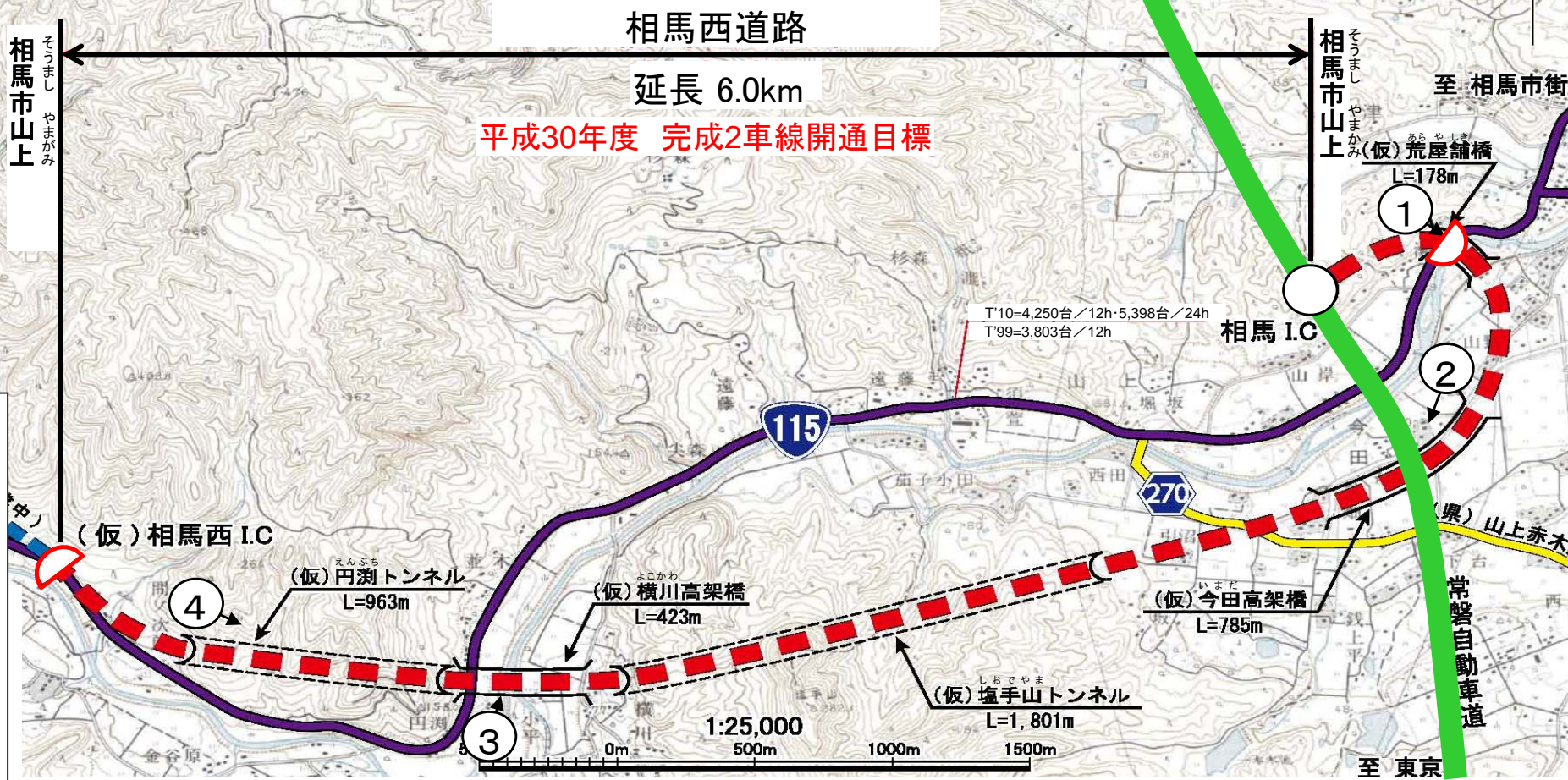


【拡大図】 ②荒屋舗橋工事現場



相馬西道路 進捗状況

(平成27年6月現在)



【事業経緯】
H23事業着手
H24用地着手
H24工事着手
H30開通目標

【H27年度事業内容】
・荒屋舗橋、今田高架橋、
塩手山トンネル、横川高架
橋、円渚トンネルに着手中

【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

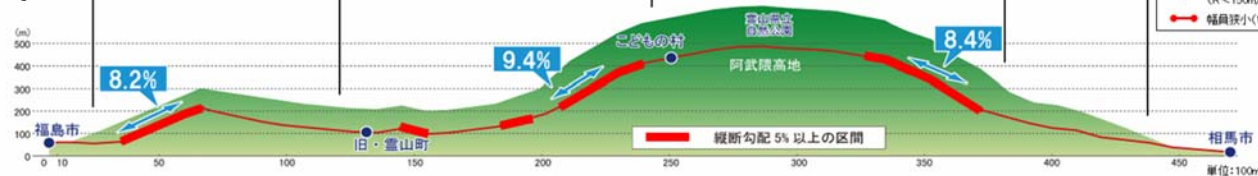
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



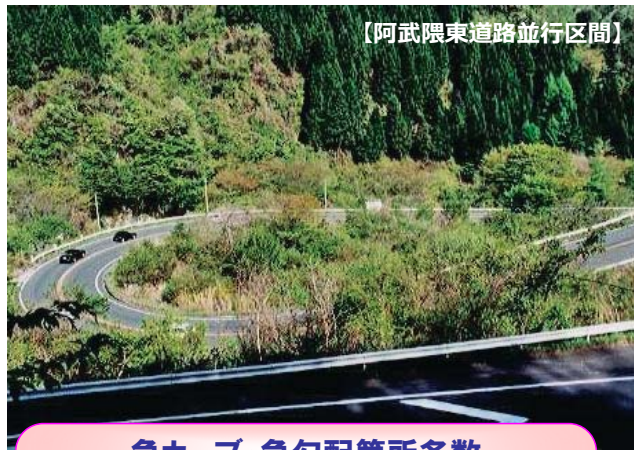
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

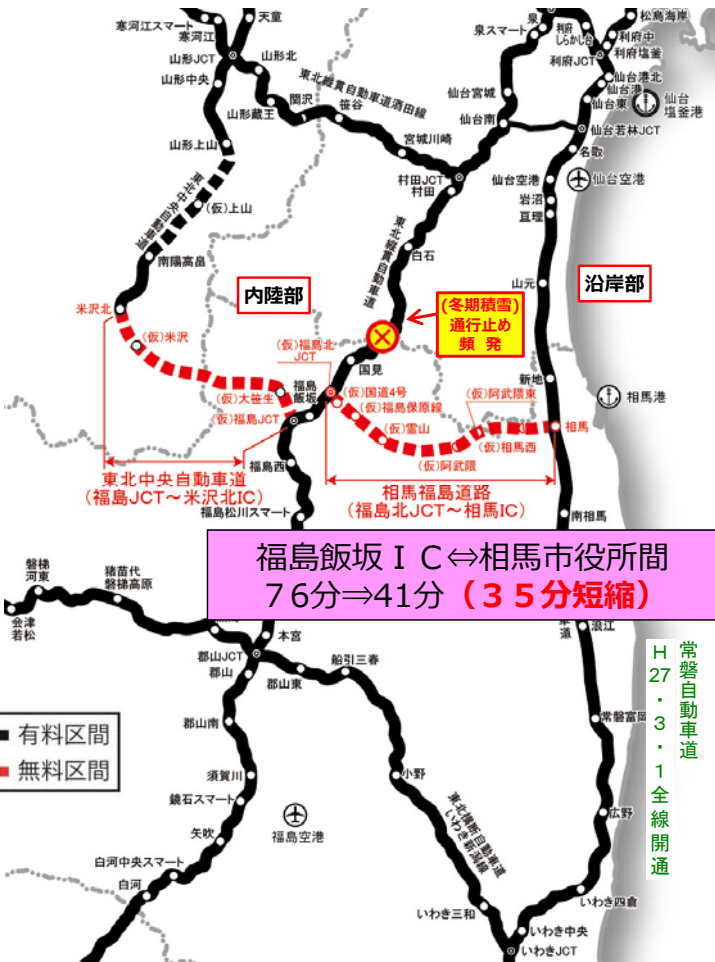


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

冬期迂回ルート
迂回率 1.74
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)

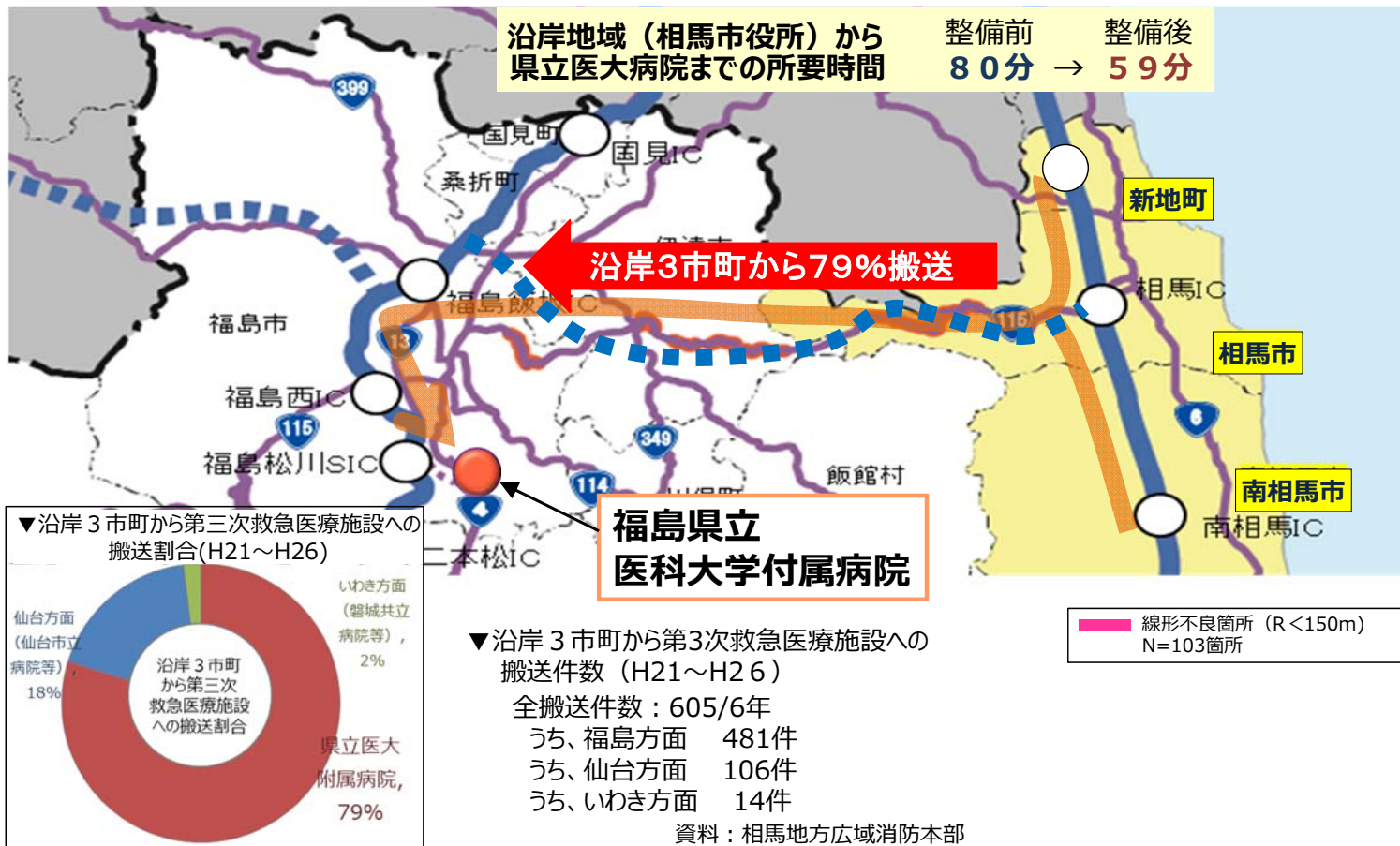


国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



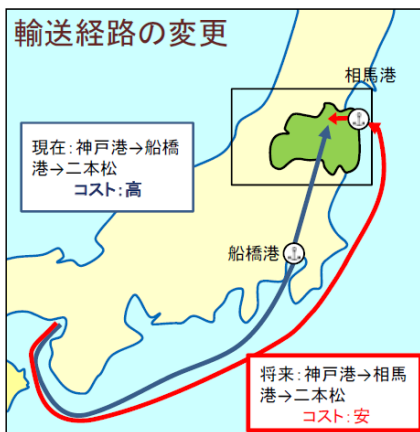
メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港